

3. お腹が痛いとき



こどもは、からだの状態を十分に言い表せないため、
全て"お腹が痛い"と言って、からだの不調を訴えるこ
とが多いようです。

お腹に手をやり、からだを縮めるような姿勢なら、本当に腹痛
と考えて良いでしょう。

看病のポイント

- ウンチは出ていますか。
- いつものウンチは硬いですか。
- ウンチが出ていなければトイレに行かせてみましょう。
- お腹を触って痛むところを確認しましょう。
- 痛みかたの様子を観察しましょう。
- 腹痛を訴えたら無理に“飲ませたり”“食べさせたり”しないで、
様子を見ましょう。
- 何か欲しがっても、水分を少量ずつ与える程度にしましょう。
- 基本的に、お腹は冷やしません。

こんなときは、急病診療所などを受診しましょう

- お腹が痛くて歩けないとき。
- 痛がってお腹を触らせないとき。
- お腹をかがめて痛がる時。
- お腹の右下を激しく痛がる時。
- ウンチに血が混ざっている時。
- 下痢、嘔吐を伴っている時。
- からだを曲げて、か細く泣いて痛がる時。
- 10～15分おきに、繰り返し痛がる時。
- 赤ちゃんが、30分以上泣きやまない時。



注意しましょう

- 受診する前に、下剤や浣腸は使わないようにしましょう。
- お腹に炎症があるときには、炎症を悪化させるので“カイロ”や“湯たんぽ”などでお腹を暖めないようにしましょう。
- 便に異常がある場合は、便をとり医者に見せましょう。